

## ご挨拶

弊社にとって新たな期が8月からスタートしました。期首には年度方針発表会を行い、目標、計画を共有し、目標達成に向け、それぞれの役割を果たしながら、目標に向かって歩みを進めております。

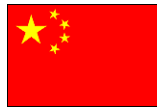
事業としては、今期も前期と同様に、静電気関連を中心とした製品事業とプリント基板生産、アッセンブリを中心とするEMS事業を進めていきます。技術、品質、コストパフォーマンス等の中身を、毎年進化させていながら、お客様のご要望に応えられる「モノづくり」を進めていきたいと思っております。今期は製品事業では静電気可視化装置のデザインを一新した新モデルの発売を積極的に進めていきます。またEMS事業ではお客様のご要望を受け止め、これまでの実績または自社製品事業等で培われた技術力を活かし新たな事へ挑戦しながら、ご期待に応えられるように進めて行きたいと思っております。今期もどうぞ、よろしくお願いいたします。

代表取締役 長谷部 巧

## ● Topics 1

### 中国・貴州省を訪れて

7月28日(月)より弊社の静電破壊自動測定器 HED-S5000R



の納品のため、中国・貴州省を訪れました。



貴州省は、中国の西南地区に位置し、北に四川省、東に湖南省、西に雲南省と接しています。平均標高1,000メートル程度の高原になっていて、極端な暑さや寒さは無いようです。日中に街を歩いてみても、日本のように蒸し暑くなく、ほとんど汗もかかない状態でした。また、街の至る所では、ビルの建設、道路工事が行われていて、日本の高度成長期の頃のような感じでした。



貴州省の街



建ち並ぶビル

装置を設置した場所も28階建てのビルの24階でしたが、窓から右方向を見ると高層ビルばかりの街並み、左方向を見ると道路を造っている途中で建物もほとんどなく、これからビルが建ち並ぶといった感じでした。数年後、同じ窓からの景色が、まったく変わっていると思いました。➤

装置設置中、何人の方が見学に来られ、装置説明を真剣に聞かれているのを見て、弊社の装置にとっても期待されていると感じました。もっと多くの方々に、弊社の装置を使用させていただく機会をつくっていかねばいけないと感じました。



設置した静電破壊自動測定器 HED-S5000R

弊社の静電破壊自動測定器 HED-S5000 シリーズは、日本、海外の ESD 規格(JEITA/ESDA/JEDEC 規格)に対応した信頼性の高い半導体評価用測定器です。詳しくは、弊社営業部までお気軽にお問い合わせください。  
阪和電子工業株式会社 営業部  
[business@hanwa-ei.co.jp](mailto:business@hanwa-ei.co.jp)

貴州の食事にも、驚きました。貴州料理は、唐辛子を用いた辛い料理が多いのが特徴です。唐辛子が入っているのが当たり前で、入っていないと「料理が食べられない」と、お客さんに



レストランの風景

言われるそうです。とてもおいしい料理ばかりでしたが、私には、汗拭きタオルが、必需品でした。辛いものが好きな方は、貴州料理を一度食べに行かれてはいかがでしょうか。



魚の鍋料理

(開発部 機械設計開発課 主任 中尾春喜)

## ● Topics 2

### K I S A ビジネスカンファレンス 2014

6月25日(水)、第6回 K I S A ビジネスカンファレンス 2014 が和歌山大学で開催されました。



会場の和歌山大学

K I S A とは、近畿情報システム産業協議会

(Kansai Information System Industry Association) の略称で、近畿地域で組織されている情報関連各団体で構成され、相互が密接に協調し、各団体の強化発展と傘下中小企業の効果的な育成を推進し、地域社会の発展に寄与することを目的とし活動しています。

K I S A ビジネスカンファレンスは、K I S A 加盟企業間のビジネス交流を促進するため、年1回のイベントとして、2009年から K I S A 主催で実施し今回で6回目。団体の枠を超えた K I S A 内の企業間、



開会式の様子



長谷部社長の発表

加盟企業約300社の企業交流から、普段では出会えない企業の商品や事業を知ることができ、新しいビジネスが生まれています。今回、私たちが参加し、弊社社長の長谷部が「静電気非接触可視化モニターの紹介」というテーマで発表させて頂きました。

## ● Topics 3

8月1日(金)、社内で「39期 経営方針及び部門方針発表会」を行い、今年度の経営方針、各部門の目標、計画を全社員で共有しました。私たちは、目標達成に向け、一人ひとりが何をやるべきかを認識し、行動してまいります。今年度は、創業から数えると49年目となり、来年度は節目の50年。弊社 阪和電子工業がこれからも成長し続け、皆様のご期待に応えていくためにも「CHANCE」「CHALLENGE」「CHANGE」の精神で努めてまいります。

## ● Topics 4

### 紀州おどり ぶんだら節中止

夏の和歌山市の恒例行事「紀州おどり ぶんだら節」が8月2日(土)に予定されていたのですが、今年は大型台風12号の影響で大荒れの天候となり中止と



なりました。本来ならば和歌山情報サービス産業協会(WAKASA)の連の一員として弊社も参加を予定していたのですが、開催されず残念でした。しかし、夜の



懇親会の会場

懇親会(打ち上げ)は予定通り行われ、和歌山情報サービス産業協会会員企業様との交流は、楽しく、大盛り上がりでした。

## ● 各種セミナー・展示会等のご案内

### ○ EOS/ESDA シンポジウム

開催日:平成26年9月7日(日)~12日(金)

場 所: Westin La Paloma, Tucson AZ USA

<http://www.esda.org/>



### ○ 第24回 RCJ 信頼性シンポジウム

(電子デバイスの信頼性シンポジウム、EOS/ESD/EMC シンポジウム)

開催日:平成26年10月29日(水)~30日(木)

場 所: 大田区産業プラザ(東京 蒲田)

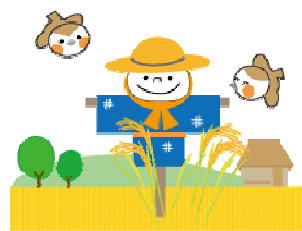
<http://www.rcj.or.jp/>



## ● 編集後記

9月に入り近隣の田んぼの稲穂も垂れ、そろそろ稲刈りが始まりそうです。穂が出てから約40~45日、黄金色の稲穂が垂れ下がると稲刈りができます。ここで大切なのは、稲刈りを行うタイミングだそうで、早く刈りすぎると米が充実する前で収量が少なく、遅れると収量は増えますが、粃が熟れすぎて米の色やつやが悪くなってしまいます。

何事もタイミングが大切。慌てず慎重に、ここぞという時に刈り取りができるよう鎌を研いで準備をする、ビジネスにも通ずるものがあるように思います。



(編集責任者 西出陽一)



HANWA Information は、弊社の生産活動(装置開発・受託事業)のタイムリーな情報をいち早く多くの方々に知って頂く為に発信しております。

(お問合せは 阪和電子工業株式会社 営業部 [business@hanwa-ei.co.jp](mailto:business@hanwa-ei.co.jp))